OLYMPUS®

エレクトロニックフラッシュ

DIGITAL

FL-36

JP 取扱説明書

このたびは当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に本説明書の内容をよくご理解の上、安全に正しくご使用ください。この説明書はご使用の際にいつでも見られるように大切に保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

本説明書では、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を絵表示とともに記載しています。絵表示の意味は次のようになっています。絵表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	⚠ 警告	⚠ 注意
人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

行為を禁止する絵表示		行為を指示する絵表示
禁止	分解禁止	強制

■ 本製品はオリンパス製デジタルカメラ専用のフラッシュです。他社のカメラに接続すると、カメラおよびフラッシュが動作しなくなるばかりか、カメラおよびフラッシュが破壊する恐れがあります。

⚠ 危険

■ 本製品には高電圧回路が組み込まれています。決して分解、改造はしないでください。感電やけがの恐れがあります。


■ 加熱性ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在する恐れがある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。


■ 車の運転者等に向けてフラッシュを発光しないでください。大きな事故の原因になります。


⚠ 警告

■ フラッシュやAFイルミネータを人（特に乳幼児）に向けて至近距離で発光しないでください。目に近づけて撮影すると、視力に回復不可能な程の傷害をきたす恐れがあります。特に乳幼児に対して1m以内の距離で撮影しないでください。


■ フラッシュ、電池等を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。以下のような事故発生の恐れがあります。
・電池や小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。
・目の前でフラッシュが発光し、視力に回復不可能な程の障害を起こす。
・フラッシュの動作部でけがをする。


■ 電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により、火災やけがの恐れがあります。
・このフラッシュで指定されていない電池を使わないでください。
・電池を火の中に投入、加熱、ショート、分解をしないでください。
・古い電池と新しい電池、種類の異なる電池、異なるメーカーの電池を混ぜて使わないでください。
・充電できないアルカリ電池等を充電しないでください。
・電池の＋－の極性を逆に入れないでください。


■ 湿気やほこりの多い場所にフラッシュを保管しないでください。火災や感電の原因となります。


■ 発光部分を手やハンカチ等の燃えやすい物で覆ったまま発光しないでください。
また連続発光直後は発光部に手を触れないでください。やけどの恐れがあります。


■ 水に落としたり、内部に水が入ったりしたときは、速やかに電池を抜き、販売店またはオリンパス岡谷修理センターにご相談ください。火災や感電の原因となります。


⚠ 注意

■ 異臭、異常音、変形もしくは煙が出たりする等の異常が生じた場合は、直ちに使用を中止しやけどに注意しながら電池を取り外し、オリンパス岡谷修理センターにご連絡ください。
火災や、やけどの原因になります。


■ 長期間使用しないときは電池を取り外しておいてください。電池の発熱や液漏れにより、火災やけが、周囲が汚れる原因になります。


■ 電池の液漏れが起きたときは使用しないでください。放っておくと、火災や感電の原因となります。販売店またはオリンパス岡谷修理センターにご相談ください。

■ ぬれた手で操作しないでください。感電の危険があります。

■ 異常に温度が高くなるところに置かないでください。部品が劣化したり、火災の原因となることがあります。

■ 長時間連続使用したあとは、電池をすぐに取り出さないでください。電池が熱くなりやけどの原因となることがあります。

■ 電池室を変形させたり、異物を入れたりしないでください。

お取り扱いについて

■ 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で本製品を使用または保管した場合、動作不良や故障の原因となりますので絶対に避けてください。
- 直射日光下や夏の海岸等
- 砂、ほこり、ちりの多い場所
- 冷暖房機、加湿器のそば
- 振動のある場所
- 高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
- 火気のある場所
- 水にぬれやすい場所
- 自動車の中

■ フラッシュを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。

■ 長時間使用しないと、カビ等により故障の原因になることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。

■ 本体の電気接点部には触れないでください。故障の原因になることがあります。

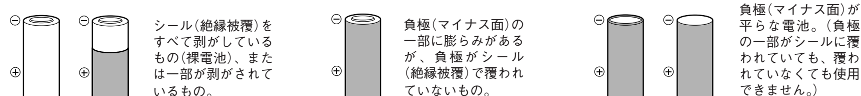
■ 発光部の加熱と劣化を防止するため、フル発光での連続発光は10回までで中断し、10分以上間をあけて発光部を冷却させてください。

電池について

■ 電池は指定された電池をお使いください。（P.13参照）

■ 以下の内容を守らない場合、電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により、火災やけがの恐れがあります。
- 古い電池と新しい電池、充電した電池と放電した電池、また、容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
- 充電できないアルカリ電池等は充電しないでください。
- ＋－を逆にして装着・使用しないでください。また電池室にスムーズに入らない場合は無理に接続しないでください。
- 外装シール（絶縁被覆）を一部またはすべて剥がしている電池や、破れている電池をご使用になりますと、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になりますので、絶対にご使用にならないでください。
- 市販されている電池の中にも、外装シール（絶縁被覆）の一部またはすべてが剥がれている電池があります。このような電池は、絶対にご使用にならないでください。

■ このような形状の電池はご使用になれません。



■ 充電式電池は必ず指定された充電器ですべての電池を同時にかつ完全に充電してからお使いください。また電池、充電器の説明書をよく読んで、正しくお使いください。

■ 誤った使い方をすると液漏れ、発熱、破損の原因になります。また、汗や油汚れは接触不良の原因となります。汚れは乾いた布でしっかりと拭き取り、挿入の際は、＋－の向きに注意して入れてください。

■ 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、フラッシュを防寒具や衣服の内側に入れる等して保温しながら使用してください。

■ 電池の液が皮膚・衣類へ付着したときは、直ちに水道水等のきれいな水で洗い流してください。皮膚に傷害を起こす原因になります。

■ 電池の液が目に入ると、失明の原因になります。こすらずに、すぐ水道水等のきれいな水で充分に洗い流し、直ちに医師の治療を受けてください。

■ 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。

■ 長時間の旅行等には、予備の新しい電池を用意することをおすすめします。特に海外では、地域によって入手困難なことがあります。

■ 電池を水や海水等につけたり、端子部をぬらさないでください。



■ 電池の＋－極が汗や油で汚れていると、接触不良をおこす原因になります。
乾いた布でよく拭いてから使用してください。



■ 火中への投下や、加熱をしないでください。



■ 電池を捨てるときは、地域の条件に従って処分してください。



■ 充電式電池を捨てる際には（＋）（－）端子をテープで絶縁してから最寄りの充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。



本製品を使用できるカメラについて

● オリンパス製デジタルカメラの種類によっては、本製品で使用できる機能に制限があります。詳しくは当社のホームページ（http://www.olympus.co.jp/）をご覧ください。

本取扱説明書をお読みになる前に

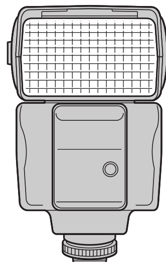
○ 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
○ 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれ等、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
○ 本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止されています。また、無断転載は固くお断りします。
○ 本製品の不適当な使用により、万一損害が生じたり、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
○ 本製品の故障、オリンパス指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益等に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
○ 本製品で撮影された画像の質は、通常のフィルム式カメラの写真の質とは異なります。

商標について
本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

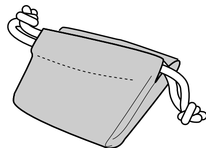
目次

箱の中を確認しましょう

箱の中の付属品はすべて揃っていますか。
万一、付属品の内容が不足していたり破損している場合はお買い上げ販売店までご連絡ください。



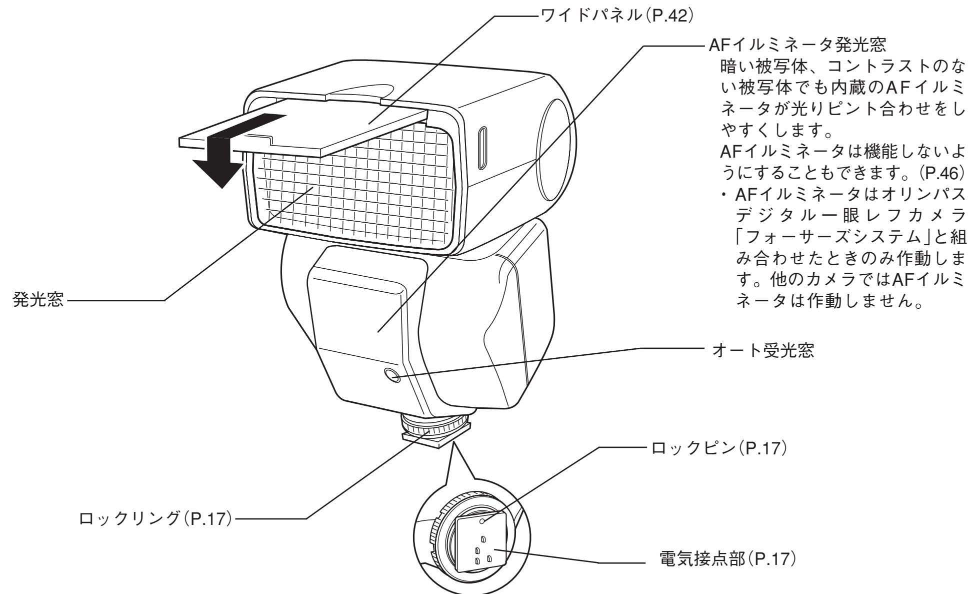
・フラッシュ本体

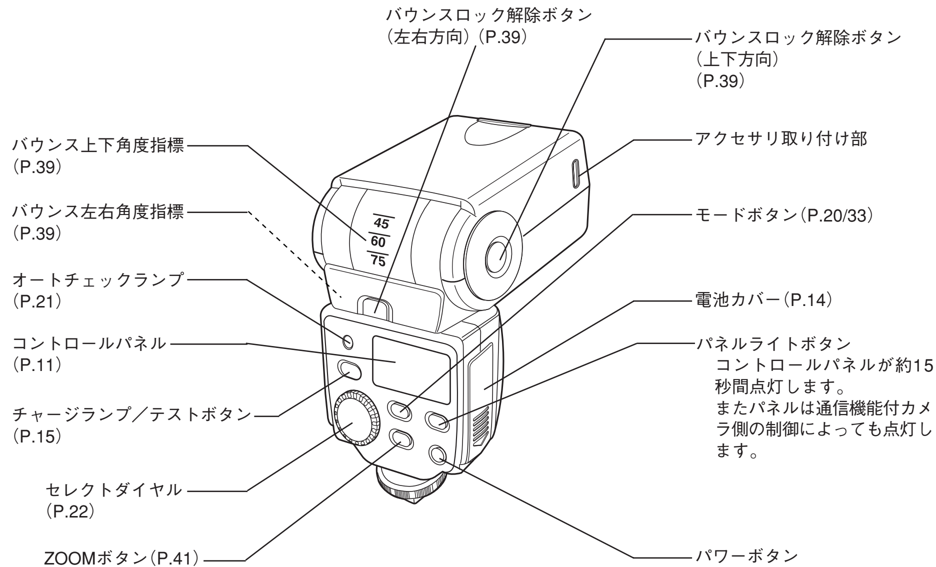


・フラッシュケース

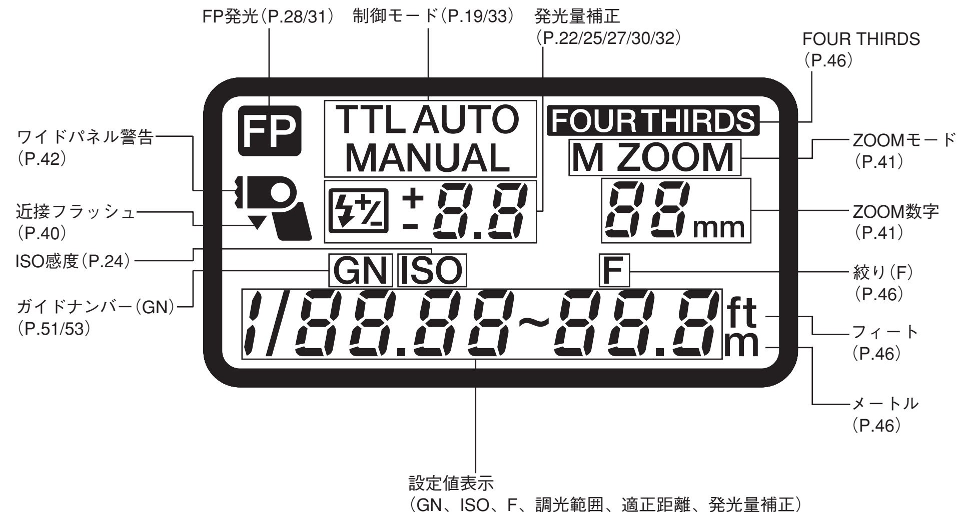
＊電池は別にお買い求めください。

各部の名称





コントロールパネルの表示



＊説明のためにすべての表示を点灯させた状態です。

本取扱説明書について

・コントロールパネルの表示はお使いになるカメラ本機の設定、撮影条件等により図と異なることがあります。
照射画角(ZOOM)表示は、次の2通りの選択ができます。

①FOUR THIRDS ‥「フォーサーズシステム」デジタルカメラの焦点距離で表示
②135 ‥‥‥‥‥‥ 135型：35mmフィルムカメラの焦点距離の画角に換算して表示

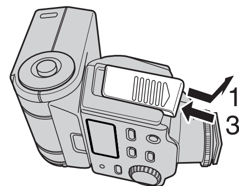
本文ではFOUR THIRDSで表示し、併せて(135時××mm)と表示しています。
なお、選択のしかたについてはP.46を参照してください。

電池を入れます

電池(別売)は、次のいずれかの種類のものをご使用ください。
・単3アルカリ電池(LR6タイプ) 2本
・単3ニッカド電池 2本
・単3ニッケル水素電池 2本
・単3ニッケルマンガン電池(ZR6タイプ) 2本
・単3オキシライド電池(ZR6Yタイプ) 2本
・単3リチウム電池(FR6タイプ) 2本
・CR-V3(当社製LB-01)リチウム電池パック 1個
＊単3マンガン電池(R6タイプ)は使用しないでください。

推奨電池
本機の充電回路は以下の電池に対し最適設計となっております。
・単3ニッケル水素電池
・CR-V3(当社製LB-01)リチウム電池パック

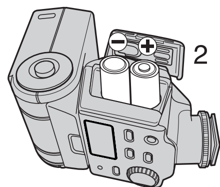
電池の入れ方



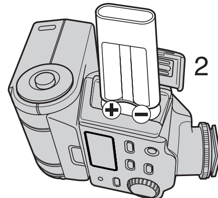
1. 電池カバーを開きます。

2. 電池の向きを正しく合わせて入れます。

3. 電池カバーを閉じます。



単3タイプ



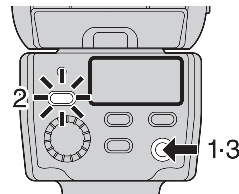
CR-V3

■ご注意

・種類の違う電池あるいは新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
・長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
・長期旅行や寒冷地の撮影には予備の電池をご用意ください。

電池をチェックします

電池を入れたら、電源を入れて電池残量をチェックします。



1. パワーボタンを押すと電源が入ります。
・コントロールパネルが点灯し、充電が始まります。

2. チャージランプが点灯することを確認します。
・チャージランプの点灯までの時間が以下のようになったら早めに電池を交換してください。

アルカリ電池／ニッケルマンガン電池 30秒以上
リチウム電池／ニッカド電池／オキシライド電池
ニッケル水素電池 10秒以上

・チャージランプとオートチェックランプが同時に点滅したときは電池が著しく消耗しています。必ず、新しい電池と交換してください。

メモ： テストボタンを押すと発光させることができます。

3. もう1度パワーボタンを押すと電源が切れます。

次のときは電源を切ってください。
・カメラに取り付けまたは取り外しするとき
・フラッシュを光らせたくないとき
・使用しないとき

■電池別の発光間隔と発光回数

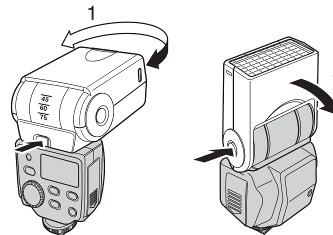
全て同一種類の新品電池を使用した場合の発光間隔と発光回数は以下のとおりです。

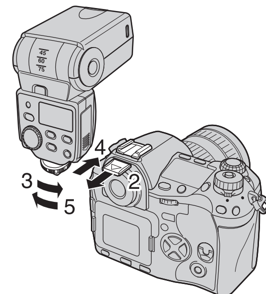
使 用 電 池	発光間隔	発光回数
単3アルカリ電池（LR6タイプ）	約7.5秒	約140回
単3ニッカド電池（P-3SPSタイプ：1000mAh）	約6.5秒	約100回
単3ニッケル水素電池（HHR-3SPSタイプ：2230mAh）	約5.5秒	約200回
単3オキシライド電池（ZR6Yタイプ）	約6.5秒	約140回
単3リチウム電池（FR6タイプ）	約7.5秒	約260回
CR-V3（当社製LB-01）リチウム電池パック	約6.5秒	約320回

※当社試験条件によります。撮影条件により異なることがあります。

カメラへの取り付け、取り外しのしかた

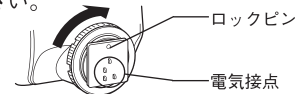
カメラ本体・本機の電源が切れていることを確認してください。
電源が入ったまま取り付け、取り外しをすると故障の原因となります。





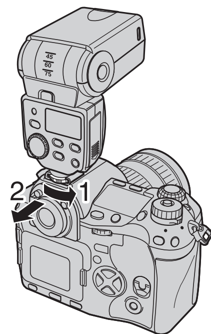
取り付け方

1. 発光部を基本の位置（水平、正面位置）にセットします。ロック位置にあるときはバウンスロック解除ボタンを押しながら回します。
2. カメラのホットシューカバーを外します。
・ホットシューカバーはフラッシュケースの内側にあるポケットに入れて保管してください。
3. ロックリングを緩めます。
・ロックピンが出ている場合は、ロックリングを「←LOCK」と反対方向に止まるところまで回して、ロックピンを引っ込めてください。



・ロックリングに必要以上の力をかけないようにしてください。
・電気接点に、指や金具等で触れないでください。
・ロックピンが出た状態でカメラに装着しないでください。故障の原因になります。

4. フラッシュをホットシューの奥にカチッと突き当たるまで、しっかりと差し込みます。
5. ロックリングを「←LOCK」方向に止まるまで回します。



取り外すとき

1. ロックリングを完全に緩めてからホットシューからスライドさせて抜きます。

2. カメラのホットシューカバーを取り付けます。

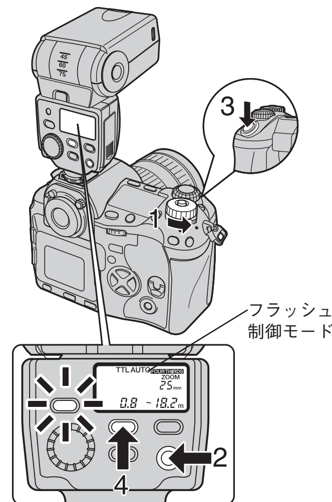
■ご注意

ホットシューのないカメラで使用するには

・外部フラッシュ端子のあるカメラは、フラッシュブラケット、ブラケットケーブル(別売)を使用して取り付けることができます。
・ホットシューおよび外部フラッシュ端子のないカメラには使用できません。

通信機能付デジタルカメラで撮影する

＜制御モードの選び方＞



1. カメラの電源を入れます。

2. 本機の電源を入れます。チャージランプが点灯したら充電完了です。

3. カメラのシャッターボタンを軽く押すと、カメラ・フラッシュ間でISO感度、絞り、シャッタースピード等の撮影情報の通信が行われます。

4. モードボタンを押してフラッシュ制御モードを選びます。
 ・コントロールパネルにフラッシュ制御モードが表示されます。
 ・モードボタンを押すたびに切り換わります。

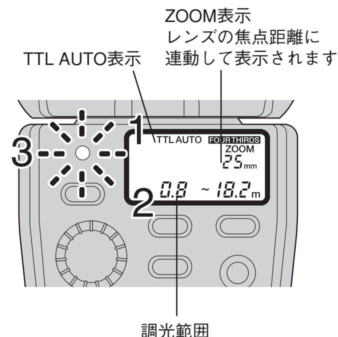
フラッシュ制御モード	コントロールパネル表示	制御内容	主な用途	参照ページ
TTL AUTO	TTL AUTO	カメラ側の設定に合わせて、プリ発光によりフラッシュ発光を自動的に制御します	通信機能付カメラは通常このモードをお使いください	P.21
AUTO	AUTO	カメラ側の設定に合わせてフラッシュのオート受光窓で光を検知し発光量を制御します	通信機能付カメラはAUTO対応機種のみ使えます	P.23
MANUAL	MANUAL	設定したガイドナンバー（GN）で発光します	マニュアル発光での撮影	P.26
FP TTL AUTO	FP TTL AUTO	一眼レフフォーカルプレーンシャッターの高速秒時でも同調するスーパーFP発光のTTL AUTOおよびMANUALです	日中シンクロ撮影等屋外のフラッシュ撮影	P.28/31
FP MANUAL	FP MANUAL			

■ご注意

・カメラ側の撮影モード、またはお使いになるカメラの機能により使用できないモードがあります。
・使用できないモードを選ぶことはできません。

＜TTL AUTO＞

プリ発光により適正発光量を測定した後、本発光します。



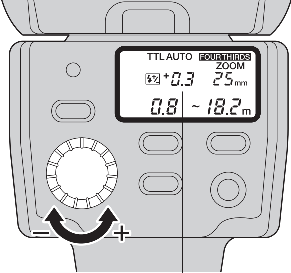
1. カメラ側の設定に合わせて調光範囲がコントロールパネルに表示されます。

2. 被写体までの距離が調光範囲内にあることを確認してください。
   範囲内にないときはレンズの絞り（F）または被写体までの距離を調整してください。
   調光範囲はカメラの種類、カメラ側の設定（ISO感度／絞り（F）／焦点距離（ZOOM））により変化します。

3. シャッターを切った後、オートチェックランプが約5秒間点滅すれば正しく発光しています。

■光量補正

フラッシュ発光量を±3段の範囲で補正することができます。



カスタム設定で発光量補正をONにしておいてください。（P.46）

・コントロールパネルに ![] マークが出ます。

1. セレクトダイヤルを回し、発光量補正値を設定してください。
   0 → ＋0.3 → ＋0.7 → ＋1.0 … ＋3.0
   0 → －0.3 → －0.7 → －1.0 … －3.0

   が選択できます。

2. 発光量補正値の表示は補正値が0以外のときに表示されます。このときの調光範囲は補正値0時の表示です。

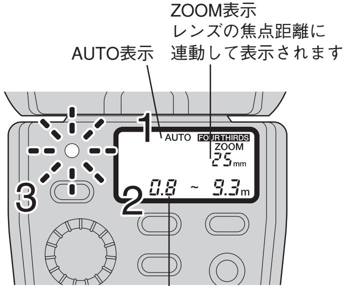
3. カメラ側でフラッシュ補正が設定されているときは、FL-36で設定した補正値と合算した補正量で発光します。このとき表示される発光量補正値は、FL-36の設定値のみが表示されます。

［例］

	設定した補正値	FL-36の発光量補正値表示	実際に発光する補正量
FL-36	＋0.3	＋0.3	＋0.6
カメラ	＋0.3		

<AUTO>

レンズの絞り（F）に合わせ、フラッシュオート受光窓で発光量を制御します。



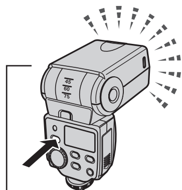
1. カメラの設定に合わせて調光範囲がコントロールパネルに表示されます。
   カメラの設定（ISO／絞り（F））が使用可能なISO・絞り（F）の組合せから外れているときは、調光範囲が表示されずに「ISO」「F」が点滅して警告します。
   このときはカメラの設定を変更してください。（P.54）

2. 被写体までの距離が調光範囲内にあることを確認してください。
   範囲内にないときはレンズの絞り（F）か被写体までの距離を変更してください。
   カメラ側の設定（ISO感度／絞り（F）／焦点距離（ZOOM））により調光範囲は変化します。

■AUTO調光可能なISO感度／絞り値の組合せ

	ISO感度							
	3200	1600	800	400	200	100	50	25
絞り値	F8	F5.6	F4	F2.8	F2	F1.4		
	F11	F8	F5.6	F4	F2.8	F2	F1.4	
	F16	F11	F8	F5.6	F4	F2.8	F2	F1.4
	F22	F16	F11	F8	F5.6	F4	F2.8	F2
	F32	F22	F16	F11	F8	F5.6	F4	F2.8
		F32	F22	F16	F11	F8	F5.6	F4
			F32	F22	F16	F11	F8	F5.6
				F32	F22	F16	F11	F8
					F32	F22	F16	F11

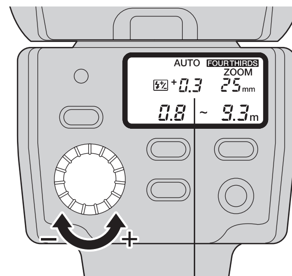
3. シャッターを切った後、オートチェックランプが約5秒間点滅すれば正しく発光しています。



メモ： テスト発光
シャッターを切る前に発光のテストができます。
テストボタンを押すとフラッシュが発光します。
発光後約5秒間オートチェックランプが点滅すれば調光はOKです。
点滅しないときは絞り(F)、ISO感度、被写体までの距離等を変更してください。
＊テスト発光による調光確認はAUTO時のみできます。

■光量補正

フラッシュ発光量を±3段の範囲で補正することができます。



発光量補正値

カスタム設定で発光量補正をONにしておいてください。(P.46)

・コントロールパネルに ⚡ マークが出ます。

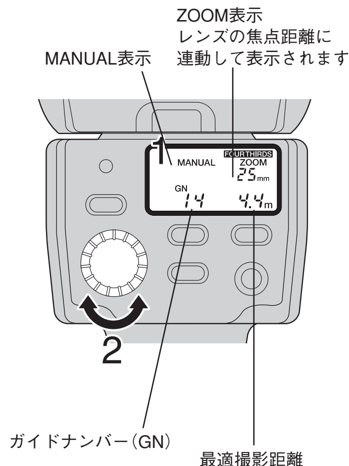
1. セレクトダイヤルを回し、発光量補正値を設定してください。
   0 → ＋0.3 → ＋0.7 → ＋1.0 … ＋3.0
   0 → －0.3 → －0.7 → －1.0 … －3.0
   が選択できます。
2. 発光量補正値の表示は補正値が0以外のときに表示されます。このときの調光範囲は補正値0時の表示です。
3. カメラ側でフラッシュ補正が設定されているときは、FL-36で設定した補正値と合算した補正量で発光します。このとき表示される発光量補正値は、FL-36の設定値のみが表示されます。

[例]

<table>
<tr><th></th><th>設定した補正値</th><th>FL-36の発光量補正値表示</th><th>実際に発光する補正量</th></tr>
<tr><td>FL-36</td><td>＋0.3</td><td rowspan="2">＋0.3</td><td rowspan="2">＋0.6</td></tr>
<tr><td>カメラ</td><td>＋0.3</td></tr>
</table>

＜MANUAL＞

設定されたガイドナンバー(GN)で発光します。



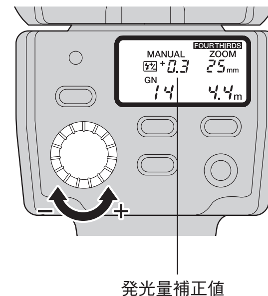
1. コントロールパネルにはカメラ側設定に合わせた最適撮影距離およびガイドナンバー(GN)が表示されます。

2. セレクトダイヤルを回し、ガイドナンバー(GN)を設定してください。
   最適撮影距離が、被写体までの距離になるように設定してください。
   最適撮影距離が0.6m(近接フラッシュの場合0.5m)より近いときは、フラッシュの照射範囲がずれるので数字が点滅して警告します。
   カメラ側の設定(ISO感度／絞り(F)／焦点距離(ZOOM))により最適撮影距離は変化します。詳しくはP.51を参照してください。

> メモ： 最適撮影距離はISO感度100のとき
> 最適撮影距離＝ガイドナンバー(GN)÷絞り(F)で計算できます。(P.53)

■光量補正

フラッシュ発光量を±0.7段の範囲で補正することができます。



カスタム設定で発光量補正をONにしておいてください。(P.46)

・コントロールパネルに マークが出ます。

1. セレクトダイヤルを回し、発光量補正値を設定してください。
   0 → ＋0.3 → ＋0.7
   0 → −0.3 → −0.7
   が選択できます。

2. 発光量補正値の表示は補正値が0以外のときに表示されます。このときのガイドナンバー(GN)・最適撮影距離は補正値0時の表示です。

3. カメラ側でフラッシュ補正が設定されていても、FL-36の補正量のみ働き、カメラ側の設定は働きません。

[例]

	設定した補正値	FL-36の発光量補正値表示	実際に発光する補正量
FL-36	＋0.3	＋0.3	＋0.3
カメラ	＋0.3		

＜FP TTL AUTO＞

・スーパーFP発光によりカメラの高速シャッタースピードでもフラッシュが同調します。
・カメラ内蔵フラッシュを使うときは「フラッシュ撮影のいろいろ」(P.44)を参照してください。

高速シャッタースピードを使用して次のような撮影ができます。
・逆光撮影で影を和らげた撮影
・屋外で、絞り開放でバックをぼかした日中シンクロのポートレート撮影

フラッシュなし　　フラッシュ(FP TTL AUTO)

逆光撮影



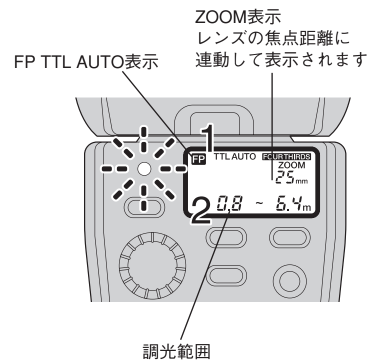


絞り込んで撮影　　絞りを開放で撮影

ポートレート







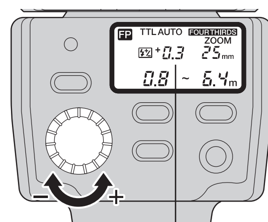
1. カメラの設定に合わせて調光範囲がコントロールパネルに表示されます。

2. 被写体までの距離が調光範囲内にあることを確認してください。
範囲内にないときはレンズの絞り(F)か被写体までの距離を変更してください。
調光範囲はカメラの種類、カメラ側の設定(ISO感度／絞り(F)／焦点距離(ZOOM))により変化します。調光範囲はTTL AUTOに比べて短くなります。

3. シャッターを切った後、オートチェックランプが約5秒間点滅すれば正しく発光しています。

■光量補正

フラッシュ発光量を±3段の範囲で補正することができます。



カスタム設定で発光量補正をONにしておいてください。（P.46）

・コントロールパネルに マークが出ます。

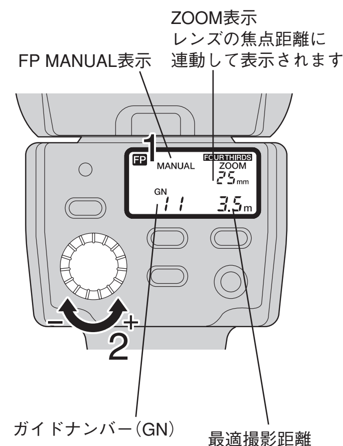
1. セレクトダイヤルを回し、発光量補正値を設定してください。
   0 → ＋0.3 → ＋0.7 → ＋1.0 … ＋3.0
   0 → −0.3 → −0.7 → −1.0 … −3.0
   が選択できます。
2. 発光量補正値の表示は補正値が0以外のときに表示されます。このときの調光範囲は補正値0時の表示です。
3. カメラ側でフラッシュ補正が設定されているときは、FL-36で設定した補正値と合算した補正量で発光します。
   このとき表示される発光量補正値は、FL-36の設定値のみが表示されます。

［例］

	設定した補正値	FL-36の発光量補正値表示	実際に発光する補正量
FL-36	＋0.3	＋0.3	＋0.6
カメラ	＋0.3		

<FP MANUAL>

設定した発光量でスーパーFP発光します。

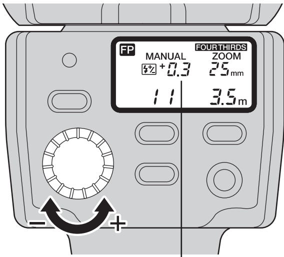


1. コントロールパネルにはカメラ側設定に合わせた最適撮影距離およびガイドナンバー（GN）が表示されます。
2. セレクトダイヤルを回し、ガイドナンバー（GN）を設定してください。
   最適撮影距離が、被写体までの距離になるように設定してください。
   最適撮影距離が0.6m（近接フラッシュの場合0.5m）より近いときは、フラッシュの照射範囲がずれるので数字が点滅して警告します。（P.54）
   カメラ側の設定（ISO感度／絞り（F）／焦点距離（ZOOM）／シャッタースピード）により最適撮影距離は変化します。
   詳しくはP.53を参照してください。

メモ： 最適撮影距離は
最適撮影距離＝ガイドナンバー（GN）÷絞り（F）で計算できます。

■光量補正

フラッシュ発光量を±0.7段の範囲で補正することができます。



発光量補正値

カスタム設定で発光量補正をONにしておいてください。(P.46)

・コントロールパネルに ⚡± マークが出ます。

1. セレクトダイヤルを回し、発光量補正値を設定してください。

 0 → ＋0.3 → ＋0.7
 0 → −0.3 → −0.7

 が選択できます。

2. 発光量補正値の表示は補正値が0以外のときに表示されます。このときのガイドナンバー（GN）・最適撮影距離は補正値0時の表示です。

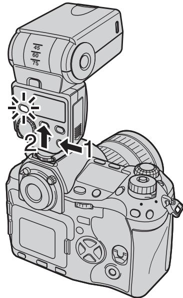
3. カメラ側でフラッシュ補正が設定されていても、FL-36の補正量のみ働き、カメラ側の設定は働きません。

［例］

	設定した補正値	FL-36の発光量補正値表示	実際に発光する補正量
FL-36	＋0.3	＋0.3	＋0.3
カメラ	＋0.3		

通信機能のないデジタルカメラで撮影する

＜制御モードの選び方＞



1. 本機の電源を入れます。
 チャージランプが点灯したら充電完了です。

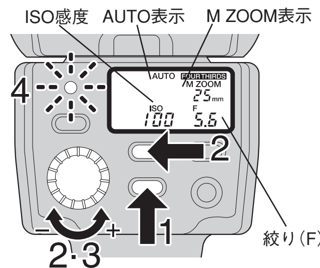
2. モードボタンを押してフラッシュ制御モードを選びます。

・コントロールパネルにモードが表示されます。

・モードボタンを押すたびにモードが切り換わります。

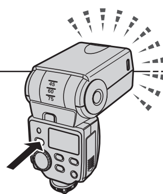
フラッシュ制御モード	コントロールパネル表示	制御内容	主な用途	参照ページ
AUTO	AUTO	レンズの絞り（F）に合わせてフラッシュのオート受光窓で光を検知し発光量を制御します	通常はこのモードをお勧めします	P.34
MANUAL	MANUAL	ガイドナンバー（GN）を設定して発光します	マニュアル発光での撮影	P.36

レンズの絞り(F)に合わせて発光量を自動的に調整します。



1. M ZOOMをレンズの焦点距離に合わせます。
2. モードボタンを押したまま2秒以内にセレクトダイヤルを回してISO感度を合わせます。
   ＊2秒以上押し続けるとカスタム設定(P.46)になります。
3. セレクトダイヤルを回してレンズの絞り(F)に合わせます。ISO感度、絞り(F)の組合せが、使用可能範囲から外れているときは、ISO感度と絞り(F)表示が点滅して警告します。そのときはISO感度、絞り(F)を変更してください。
4. シャッターを切った後、オートチェックランプが約5秒間点滅すれば正しく発光しています。

メモ：ISO感度、絞り(F)をカメラ側の設定値に対して、シフトさせて設定することにより、1／3段ステップで発光量補正することができます。



メモ：テスト発光
シャッターを切る前に発光のテストができます。
テストボタンを押すとフラッシュが発光します。
発光後約5秒間オートチェックランプが点滅すれば調光はOKです。
点滅しないときは絞り(F)、ISO感度、被写体までの距離等を変更してください。
＊テスト発光による調光確認はAUTO時のみできます。

■AUTO調光範囲

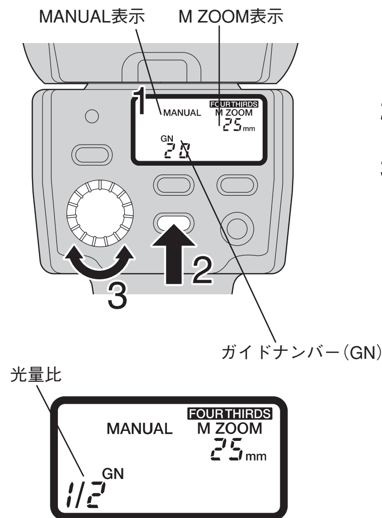
AUTO調光連動範囲(m)

	ISO感度								照射角度(mm)　上段：FOURTHIRDS　下段：135時							
									8(Wパネル)	10(Wパネル)	12	14	17	25	35	42
	3200	1600	800	400	200	**100**	50	25	16(Wパネル)	20(Wパネル)	24	28	35	50	70	85
絞り値	F8	F5.6	F4	F2.8	F2	**F1.4**			0.8〜8.6	0.9〜10.0	1.3〜14.3	1.4〜15.7	1.5〜17.1	1.8〜20.0	2.0〜22.9	2.3〜25.7
	F11	F8	F5.6	F4	F2.8	**F2**	F1.4		0.6〜6.0	0.6〜7.0	0.9〜10.0	1.0〜11.0	1.1〜12.0	1.3〜14.0	1.4〜16.0	1.6〜18.0
	F16	F11	F8	F5.6	F4	**F2.8**	F2	F1.4	0.5〜4.3	0.5〜5.0	0.6〜7.1	0.7〜7.9	0.8〜8.6	0.9〜10.0	1.0〜11.4	1.1〜12.9
	F22	F16	F11	F8	F5.6	**F4**	F2.8	F2	0.5〜3.0	0.5〜3.5	0.5〜5.0	0.5〜5.5	0.5〜6.0	0.6〜7.0	0.7〜8.0	0.8〜9.0
	F32	F22	F16	F11	F8	**F5.6**	F4	F2.8	0.5〜2.1	0.5〜2.5	0.5〜3.6	0.5〜3.9	0.5〜4.3	0.5〜5.0	0.5〜5.7	0.6〜6.4
		F32	F22	F16	F11	**F8**	F5.6	F4	0.5〜1.5	0.5〜1.8	0.5〜2.5	0.5〜2.8	0.5〜3.0	0.5〜3.5	0.5〜4.0	0.5〜4.5
			F32	F22	F16	**F11**	F8	F5.6	0.5〜1.1	0.5〜1.3	0.5〜1.8	0.5〜2.0	0.5〜2.2	0.5〜2.5	0.5〜2.9	0.5〜3.3
				F32	F22	**F16**	F11	F8	0.5〜0.8	0.5〜0.9	0.5〜1.3	0.5〜1.4	0.5〜1.5	0.5〜1.8	0.5〜2.0	0.5〜2.3
					F32	**F22**	F16	F11	0.5〜0.5	0.5〜0.6	0.5〜0.9	0.5〜1.0	0.5〜1.1	0.5〜1.3	0.5〜1.5	0.5〜1.6

この表はオフフラッシュのときの調光範囲を表しています。
発光部が正面のとき、近距離側の数字は0.6以上、発光部が下向きのときは0.5以上が表示されます。

<MANUAL>

設定したガイドナンバー(GN)で発光します。



1. コントロールパネルにはガイドナンバー(GN)が表示されます。
2. M ZOOM表示をレンズの焦点距離に合わせます。
3. セレクトダイヤルを回しガイドナンバー(GN)を設定してください。

カスタム設定(P.48)により、発光量をGNに代えて光量比で表示することもできます。
光量比：フル発光に対する発光量の比

絞り(F)、ガイドナンバー(GN)、最適撮影距離の求め方

1. 撮影距離と絞りを決めている場合。
   以下の式でガイドナンバー(GN)を求め、FL-36のGNをセットします。

$$\text{ガイドナンバー(GN)} = \frac{\text{絞り(F)} \times \text{撮影距離(m)}}{\text{ISO感度係数}}$$

2. 絞り(F)をセットする場合。
   以下の式で絞り(F)を求め、カメラの絞りをセットします。

$$\text{絞り(F)} = \frac{\text{ガイドナンバー(GN)} \times \text{ISO感度係数}}{\text{撮影距離}}$$

3. 最適撮影距離の求め方。

$$\text{最適撮影距離(m)} = \frac{\text{ガイドナンバー(GN)} \times \text{ISO感度係数}}{\text{絞り(F)}}$$

ISO感度係数

ISO感度	25	50	100	200	400	800	1600	3200
補正係数	0.5	0.71	1.0	1.4	2.0	2.8	4.0	5.6

ガイドナンバー一覧表はP.51をご覧ください。

その他の使い方

バウンス撮影

バウンス（反射）とはフラッシュ光を、天井や壁に反射させて撮影する方法です。
被写体全体に光が回り強い影の出ないソフトな写真が得られます。

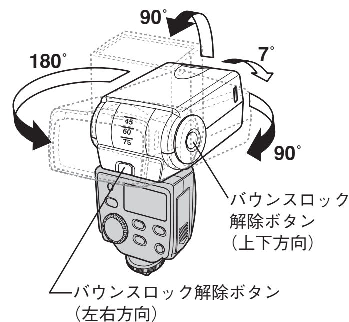
バウンスなし



バウンス



使い方



1. バウンスロック解除ボタンを押しながら発光部の向きを左図の範囲に回転させることができます。

   下方向7°にも変えることができます。
   （近接フラッシュP.40をお読みください）

   ロックされた位置ではバウンスロック解除ボタンを押しながら変えてください。

・コントロールパネルに調光範囲／最適撮影距離は表示されません。
・フラッシュ光の反射面（天井や壁等）に色があると撮影した写真に影響することがあります。反射面は白に近い色を選択してください。
・照射画角は自動（ZOOM）のときはコントロールパネルのZOOM表示は「- -」となり、25mm（135時50mm）にセットされます。
・照射画角は手動（M ZOOM）により切り換えることができます。（P.41）

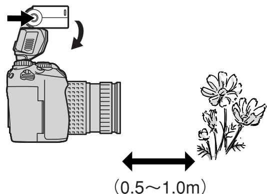
近接フラッシュの使い方

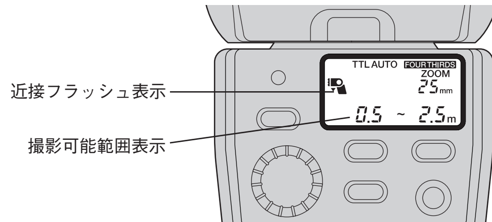
被写体までの距離が0.5〜1.0mのときはフラッシュの照射範囲がずれますので、発光窓を下に向けて使用してください。

1. バウンスロックボタンを押しながら発光窓を下向き(7°)に向けてください。

2. コントロールパネルに近接フラッシュ表示が出ます。

1

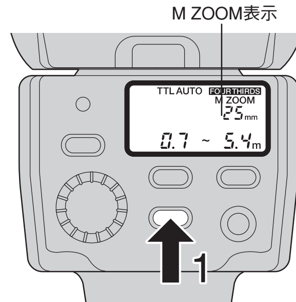




- 0.5〜1.0mの範囲でのご使用をおすすめします。
- 撮影可能範囲はコントロールパネルに表示され、最大2.5mまでです。
- 全長の長いレンズ、径の大きなレンズではフラッシュの光がケラレることがあります。試し撮りをしてからお使いください。
- 通常撮影時は発光窓を下向きにして使用しないでください。下向きで撮影すると写真の画面上側が暗くなります。

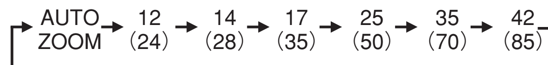
照射画角(ZOOM)手動切換の使い方

照射画角を任意に設定することができます。

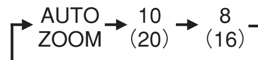


1. ZOOMボタンを押して、照射画角を設定してください。
- コントロールパネルには、M ZOOM表示が出ます。
- ZOOMは12/14/17/25/35/42mm(135時24/28/35/50/70/85mm)が選べます。
  ボタンを押す毎に以下の様に切り換わります。

※AUTO ZOOM時はZOOM表示のみ出ます。



ワイドパネルを使っているとき(P.42)



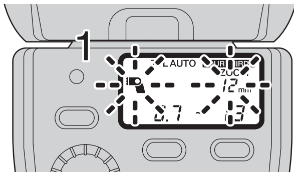
※ AUTO ZOOMは通信機能付デジタルカメラでのみ選択できます。

■ご注意

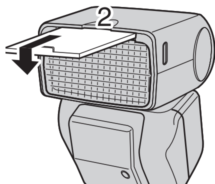
使用するレンズの焦点距離より大きなZOOM値を選ぶと、写真の画面周辺が暗くなります。

ワイドパネルの使い方

レンズの焦点距離が12mmよりワイド側でフラッシュ撮影するときは内蔵のワイドパネルを使用してください。



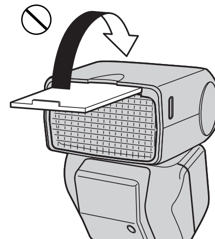
1. 焦点距離が12mm（135時24mm）よりワイドになると、コントロールパネルにワイドパネル警告表示が点滅します。
（※通信機能のないカメラでは表示しません）



2. ワイドパネルを引き出しセットします。
・コントロールパネルにワイドパネル表示が出ます。



3. ZOOMボタンを押して照射画角を選びます。
8mm/10mm（135時16mm/20mm）が選べます。



・ワイドパネルを使用するとガイドナンバー（GN）が小さくなるため「TTL AUTO」「AUTO」「FP TTL AUTO」撮影では撮影可能範囲が短くなり、「MANUAL」「FP MANUAL」撮影では最適撮影距離が短くなります。
・撮影後はワイドパネルを収納してください。
・ワイドパネルは上側に倒さないでください。破損の原因となります。
・ワイドパネルを引き出した状態で破損すると、ZOOMボタンが選択できなくなります。このときはワイドパネルスイッチを無効にすることで回復できます。（P.46）

フラッシュ撮影のいろいろ

カメラ側の設定によりいろいろなフラッシュ撮影ができます。
・カメラの機能および形状により使えない機能もあります。
・使い方はカメラの取扱説明書をお読みください。

1. 赤目軽減発光





フラッシュの発光により目が赤く写る現象を軽減させます。

2. スローシンクロ





スローシャッターでフラッシュを発光させます。

夜景をバックにした人物撮影がきれいに撮れます。

3. 後幕シンクロ

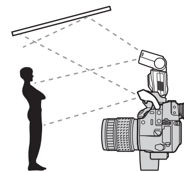


スローシャッターを使い、露出が終わる直前にフラッシュを発光させます。
被写体とその動きの軌跡により、走る車のテールライトが尾を引くような撮影ができます。

4. カメラ内蔵フラッシュとの併用



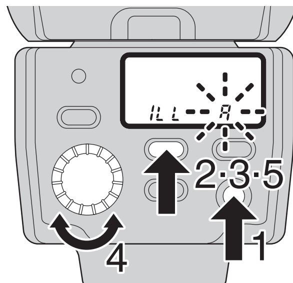
内蔵フラッシュ付カメラではカメラ内蔵フラッシュと併用して撮影することができます。
・本機をバウンスさせ、内蔵フラッシュでキャッチライト効果を出す等高度な撮影ができます。
・本機をカメラのホットシューに取り付けた状態では内蔵フラッシュが使えない機種があります。



■ご注意
本機の制御モードはTTL AUTOまたはFP TTL AUTOに設定してください。

カスタム設定のしかた

本機の仕様を使いやすいようにカスタム設定することができます。



設定のしかた

1. 本機の電源を入れます。

2. モードボタンを2秒以上押すと、設定モード表示に変わります。

3. モードボタンを短く押して設定モードを選びます。

4. セレクトダイヤルを回して仕様を設定します。

5. モードボタンを2秒以上押すと設定は終了し、表示は戻ります。

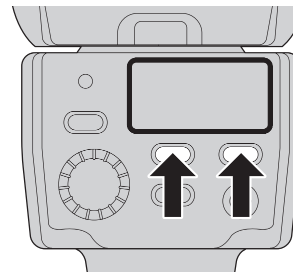
設定モード	モード表示 ダイヤルA	仕様表示 ダイヤルB	機能	初期設定
AFイルミネータ仕様 オリンパスデジタル一眼レフカメラ「フォーサーズシステム」以外のカメラではAFイルミネータは作動しません。	ILL	A	カメラ側の制御によりAFイルミネータが働きます。	A
		OFF	AFイルミネータは働きません。	
フラッシュケーブル	CLP	on	フラッシュケーブルを使用しないときの設定に切り換えます。（ホットシュー接続、クリップオン接続時）	on
		OFF	フラッシュケーブルを使用するときの設定に切り換えます。（オフフラッシュ接続時）	
照射画角（ZOOM）表示	FOUR THIRDS ZOOM - - m	4-3	照射画角（ZOOM）をFOUR THIRDSデジタルカメラ用フォーマットのレンズ焦点距離で表示します。	4-3
	ZOOM - - m	135	照射画角を135型の焦点距離に換算して表示します。 135型：35mmフィルムカメラと同じ感覚で使用できます。	
距離表示の単位	ft m	m	距離をm単位で表示します。	m
		ft	距離をfeet単位で表示します。	

設定モード	モード表示 ダイヤルA	仕様表示 ダイヤルB	機能	初期設定
発光量補正		OFF	発光量の補正が働きません。	OFF
		on	発光量の補正が働きます。	
ワイドパネル スイッチ無効		on	ワイドパネルスイッチが有効です。ワイドパネルが引き出されていることを検知します。	on
		OFF	ワイドパネルスイッチが無効です。ワイドパネルが破損したときに使用するとZOOMボタンで照射角度を変更することができるようになります。	
GN（ガイドナンバー）表示	GN	on	フラッシュ発光量をGN（ガイドナンバー）で表示します。	on
		OFF	フラッシュ発光量を光量比で表示します。	
AUTO時ISO、F通信 AUTO 時ISO感度設定通信機能付カメラのみ働きます。	ISO　F	on	ISO感度・絞り（F）の設定は、カメラ側より自動的に設定されます。	on
		OFF	ISO感度・絞り（F）をセレクトダイヤルで設定できます。	

設定モード	モード表示 ダイヤルA	仕様表示 ダイヤルB	機能	初期設定
AUTO時ISO設定 AUTO時ISO感度設定通信機能のないカメラおよび同機能付カメラでAUTO時のISO、F通信をOFFにした時に働きます。	ISO	25 ~ 3200	ISO感度をセレクトダイヤルで設定できます。	100

オールリセット

カスタム設定を初期値へ戻すことができます。



・モードボタン／パネルライトボタンを同時に2秒以上押すと距離表示単位（m/ft）を除き設定は初期設定に戻ります。
・距離表示単位（m/ft）は設定のまま変わりません。

連続発光について

連続発光すると発光部が熱くなり、劣化、故障の恐れがありますので連続発光は次の回数までとし、10分以上休ませてください。

■連続発光制限回数

フラッシュ制御モード	光　量　比	発 光 間 隔	制 限 回 数
TTL AUTO AUTO MANUAL FP AUTO FP MANUAL	1／1	6秒	10
	1／2	3秒	20
	1／4	1秒	40
	1／8〜1／128	0.5秒以下	80

ガイドナンバー(GN)一覧

• TTL AUTO/AUTO

ISO100･m

ZOOM (mm)	FOURTHIRDS	8	10	12	14	17	25	35	42
	135時	16	20	24	28	35	50	70	85
TTL AUTO/AUTO	FULL発光	12	14	20	22	26	28	32	36

• MANUAL

ISO100･m

ZOOM (mm)	FOURTHIRDS	8	10	12	14	17	25	35	42
	135時	16	20	24	28	35	50	70	85
MANUAL 光量比	1/1	12.0	14.0	20.0	22.0	24.0	28.0	32.0	36.0
	1/2	8.5	9.9	14.1	15.6	17.0	19.8	22.6	25.5
	1/4	6.0	7.0	10.0	11.0	12.0	14.0	16.0	18.0
	1/8	4.2	4.9	7.1	7.8	8.5	9.9	11.3	12.7
	1/16	3.0	3.5	5.0	5.5	6.0	7.0	8.0	9.0
	1/32	2.1	2.5	3.5	3.9	4.2	4.9	5.7	6.4
	1/64	1.5	1.8	2.5	2.8	3.0	3.5	4.0	4.5
	1/128	1.1	1.2	1.8	1.9	2.1	2.5	2.8	3.2

• FP TTL AUTO

ISO100・m

ZOOM (mm)	FOURTHIRDS	8	10	12	14	17	25	35	42
	135時	16	20	24	28	35	50	70	85
シャッタースピード	1/125	8.5	9.9	14.1	15.6	17.0	19.8	22.6	25.5
	1/160	7.5	8.8	12.5	13.8	15.0	17.5	20.0	22.5
	1/200	6.7	7.8	11.2	12.3	13.4	15.7	17.9	20.1
	1/250	6.0	7.0	10.0	11.0	12.0	14.0	16.0	18.0
	1/320	5.3	6.2	8.8	9.7	10.6	12.4	14.1	15.9
	1/400	4.7	5.5	7.9	8.7	9.5	11.1	12.6	14.2
	1/500	4.2	4.9	7.1	7.8	8.5	9.9	11.3	12.7
	1/640	3.8	4.4	6.3	6.9	7.5	8.8	10.0	11.3
	1/800	3.4	3.9	5.6	6.1	6.7	7.8	8.9	10.1
	1/1000	3.0	3.5	5.0	5.5	6.0	7.0	8.0	9.0
	1/1250	2.7	3.1	4.5	4.9	5.4	6.3	7.2	8.0
	1/1600	2.4	2.8	4.0	4.3	4.7	5.5	6.3	7.1
	1/2000	2.1	2.5	3.5	3.9	4.2	4.9	5.7	6.4
	1/2500	1.9	2.2	3.2	3.5	3.8	4.4	5.1	5.7
	1/3200	1.7	2.0	2.8	3.1	3.4	3.9	4.5	5.0
	1/4000	1.5	1.8	2.5	2.8	3.0	3.5	4.0	4.5
	1/5000	1.3	1.6	2.2	2.5	2.7	3.1	3.6	4.0
	1/6400	1.2	1.4	2.0	2.2	2.4	2.8	3.2	3.6
	1/8000	1.1	1.2	1.8	1.9	2.1	2.5	2.8	3.2

• FP MANUAL

以下は1/1発光時のガイドナンバー（GN）です。

ISO100・m

ZOOM (mm)	FOURTHIRDS	8	10	12	14	17	25	35	42
	135時	16	20	24	28	35	50	70	85
シャッタースピード	1/125	8.5	9.9	14.1	15.6	17.0	19.8	22.6	25.5
	1/160	7.5	8.8	12.5	13.8	15.0	17.5	20.0	22.5
	1/200	6.7	7.8	11.2	12.3	13.4	15.7	17.9	20.1
	1/250	6.0	7.0	10.0	11.0	12.0	14.0	16.0	18.0
	1/320	5.3	6.2	8.8	9.7	10.6	12.4	14.1	15.9
	1/400	4.7	5.5	7.9	8.7	9.5	11.1	12.6	14.2
	1/500	4.2	4.9	7.1	7.8	8.5	9.9	11.3	12.7
	1/640	3.8	4.4	6.3	6.9	7.5	8.8	10.0	11.3
	1/800	3.4	3.9	5.6	6.1	6.7	7.8	8.9	10.1
	1/1000	3.0	3.5	5.0	5.5	6.0	7.0	8.0	9.0
	1/1250	2.7	3.1	4.5	4.9	5.4	6.3	7.2	8.0
	1/1600	2.4	2.8	4.0	4.3	4.7	5.5	6.3	7.1
	1/2000	2.1	2.5	3.5	3.9	4.2	4.9	5.7	6.4
	1/2500	1.9	2.2	3.2	3.5	3.8	4.4	5.1	5.7
	1/3200	1.7	2.0	2.8	3.1	3.4	3.9	4.5	5.0
	1/4000	1.5	1.8	2.5	2.8	3.0	3.5	4.0	4.5
	1/5000	1.3	1.6	2.2	2.5	2.7	3.1	3.6	4.0
	1/6400	1.2	1.4	2.0	2.2	2.4	2.8	3.2	3.6
	1/8000	1.1	1.2	1.8	1.9	2.1	2.5	2.8	3.2

FP MANUALで光量を1/1以外にしたときのガイドナンバー（GN）は以下の計算式で求めることができます。

1/1以外のガイドナンバーの求め方
ガイドナンバー（GN）＝ 1/1のガイドナンバー × 光量比係数

光量比係数

光　量　比	1/1	1/2	1/4	1/8	1/16
光 量 比 係 数	1.0	0.71	0.5	0.35	0.25

警告表示一覧

・通信機能付デジタルカメラ

警　告　内　容	コントロールパネル表示	こうしましょう	参照ページ
AUTO時 調光範囲外	AUTO FOURTHIRDS ZOOM 25mm ISO F	カメラのISO感度または絞り(F)の設定を変えてください。	P.23
MANUAL時 近距離	MANUAL FOURTHIRDS M ZOOM 25mm GN 40 0.6m	①カメラのISO感度または絞り(F)の設定を変えてください。 ②ガイドナンバー(GN)の設定を変えてください。	P.26
FP MANUAL時 近距離	FP MANUAL FOURTHIRDS ZOOM 25mm GN 40 0.6m	①カメラのISO感度または絞り(F)の設定を変えてください。 ②ガイドナンバー(GN)の設定を変えてください。	P.31
全モード時 ワイドパネル 要求警告	12mm	ワイドパネルをセットしてください。	P.42

警　告　内　容	コントロールパネル表示	こうしましょう	参照ページ
全モード時 下向きバウンス		発光部が下向き7°にセットされています。近接フラッシュ撮影時以外は解除してください。	P.40
全モード時 ワイドパネル警告		ワイドパネルがセットされています。ガイドナンバー(GN)が小さくなりますので被写体までの距離に注意してください。	P.42

・通信機能のないデジタルカメラ

警告内容	コントロールパネル表示	こうしましょう	参照ページ
全モード時 下向きバウンス		発光部が下向き7°にセットされています。近接フラッシュ撮影時以外は解除してください。	P.40
全モード時 ワイドパネル警告		ワイドパネルがセットされています。ガイドナンバー(GN)が小さくなりますので被写体までの距離に注意してください。	P.42
AUTO時 調光範囲外	AUTO FOURTHIRDS ZOOM 25 mm ISO 100 F 5.6	カメラのISO感度または絞り(F)の設定を変えてください。	P.34

Q&A

Q 他のフラッシュと組み合わせて、TTL AUTOで多灯撮影はできますか?
A 多灯撮影はできません。

Q テスト発光によるオートチェックはどんなときに有効ですか?
A バウンス撮影時には事前にテストボタンを押すことで、オートチェックランプによる適正発光の確認ができます。(AUTOのみ)

Q 内蔵フラッシュと組み合わせて同時発光させるとどうなりますか。
A TTLのときだけ両方が同時に発光し、その光量で適正露出が決定されます(カメラの撮影モードがPまたはAのとき)。
バウンス撮影のときは内蔵フラッシュをキャッチライトとしても使用できます。(P.45参照)

Q 続けて発光させたら、フラッシュが熱くなったのですが。
A チャージランプが点灯直後の連続発光を繰り返すと、電池が発熱します。このような場合は発光部と電池が冷えるまで間隔をおいて使用してください。

Q カメラに装着できません。
A ロックピンが出ているとカメラに装着できません。その場合ロックリングを「←LOCK」と反対方向に止まるまで回してロックピンを引っ込めてからカメラに装着してください。(P.17参照)

Q モードボタンを押しても制御モードが切り換わらない。
A 通信可能なカメラに接続すると、フラッシュの制御モードがカメラ側からしか選択できない機種があります。

Q 露出がオーバーになります。

A コントロールパネルに表示される撮影可能範囲を確認してください。撮影可能範囲より近くに被写体がある時は、
・レンズの絞りを絞る
・発光量補正を(—)側に設定する
・ワイドパネルを使用する
などの方法で撮影可能範囲になるように調整してください。

Q フラッシュ撮影時、カメラのホワイトバランスはどのようにしたら良いでしょうか。

A オートモードでのご使用をおすすめします。マニュアルホワイトバランスを使用するときは、5500Kに色温度を設定してください。なお、フラッシュ撮影条件によって色温度は変化します。

Q コントロールパネルの調光範囲表示が出ない。

A 次の場合には表示が出ません。
・エクステンションチューブEX-25(別売)を使用したとき
・レンズを外したとき
・バウンス撮影時
・発光量補正時
・ISO感度、絞り(F)の設定が範囲外のとき

Q オリンパスデジタルカメラE-1がスリープに入ったとき、FL-36のコントロールパネル表示が消えた。

A 正常です。FL-36はE-1と連動してスリープに入ります。カメラがスリープから復帰すると、FL-36も連動して復帰します。

Q オリンパスデジタルカメラE-1の電源を切ったとき、FL-36も電源が切れますか？

A E-1の電源を切ったときは、FL-36はスリープになります。再びE-1の電源を入れれば、FL-36も電源ONになります。FL-36の電源を切るときは、FL-36の電源を最初に切ってください。
なお通信機能のないカメラと組み合わせたときには、FL-36を約15分間何も操作をしないと、自動的にスリープになります。

主な仕様

MODEL NO.	：FS-FL36
形式	：デジタルスチルカメラ用外部フラッシュ
ガイドナンバー	：自動切換 36：42mm時(135時85mm) 20：12mm時(135時24mm) 8/10切り換え：ワイドパネル使用時
照射角度	：自動切換 12mm時：上下61°、左右78°(12mmレンズの画角をカバー)※ 42mm時：上下21°、左右28°(42mmレンズの画角をカバー)※ ワイドパネル使用8mm時：上下83°、左右101°(8mmレンズの画角をカバー)※ ※ZOOM表示はFOUR THIRDS時
発光時間	：約1/20000秒〜1/500秒(発光量により変わる：FP発光時を除く)
発光回数 (フル発光時)	：約150回(単3アルカリ電池 LR6使用時) 約320回(リチウム電池LB-01使用時) (撮影条件により変わる)
充電時間 (フル発光してから チャージランプ点灯まで)	：約7.5秒(単3アルカリ電池使用時) 約6.5秒(リチウム電池LB-01使用時)
発光モード	：TTL AUTO、AUTO、MANUAL、FP TTL AUTO、FP MANUAL
バウンス角度	：上側：0〜90°　下側：7°　右側：0〜90°　左側：0〜180°
オートパワーオフ	：通信可能なカメラのオートパワーオフに連動
AFイルミネータ	：通信可能なカメラとの組合せのみ低輝度で自動照射 有効距離の目安(使用するカメラ、レンズの種類によって異なります) 1m〜5m
電源	：単3アルカリ電池(LR6タイプ) 2本、単3ニッカド電池 2本、単3ニッケル水素電池　2本、単3ニッケルマンガン電池(ZR6タイプ) 2本、単3オキシライド電池(ZR6Y) 2本、単3リチウム電池(FR6タイプ) 2本、CR-V3(当社製LB-01)リチウム電池パック 1個
大きさ	：67mm(幅)×108mm(高さ)×95mm(奥行き)(突起部含まず)
質量	：210g(電池別)
使用環境	：温度0〜40℃、湿度80%以下(結露しないこと)

外観・仕様は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

OLYMPUS

オリンパスイメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1　新宿モノリス

●ホームページ　http://www.olympus.co.jp/

●電話でのご相談窓口

カスタマーサポートセンター　　0120-084215

携帯電話・PHSからは　TEL: 0426-42-7499

FAX: 0426-42-7486

営業時間　平日　9:30～21:00

土、日、祝日　10:00～18:00

（年末年始、システムメンテナンス日を除く）

●修理に関するお問い合わせ（オリンパス岡谷修理センター）

TEL: 0266-26-0330 / FAX: 0266-26-2011

〒394-0083　長野県岡谷市長地柴宮 3-15-1

営業時間　9:00～17:00（日曜、夏期・年末年始休業、システムメンテナンス日を除く）

Printed in China

VM040703